

地元大学生による小学生への学習・居場所支援

共働き世帯からの要望に応え、地元大学生が無料塾を企画、運営。地域にある資源を最大限活用し、共に楽しみながら学ぶことができる、居心地のよい空間を創出しています。

F A S E にあてはまらない助け合いに関する活動

# まっち楽習塾



一般社団法人多摩区ソーシャルデザインセンター(略称 多摩SDC)

※保育士や教員を志す学生の実践の場としても機能



川崎市多摩区にて  
大学生が子ども達の  
宿題お手伝い

多摩SDCが以前から取り組む子ども食堂の活動の中で、「子どもの宿題をみてあげたくても忙しくて手が回らない」との声が。働くパパ・ママの支援として、川崎市多摩区で育った大学生が、1から内容を考え、温かみがあり、地域に密着した無料塾を運営しています。

## 学習支援から居場所支援へ

↓1クール終了した子どもたちに「卒業証書」授与



ロールモデルを発見。同じ地域で暮らす大学生と小学生、保護者等、新たな助け合いを創出することができました。

取組を進めていく過程で、「宿題を終わらせる」だけではなく、学校でも家庭でもない「地域の居場所」にニーズがあると分かりました。また、子どもや保護者との関わりの中で、学生も

## 地域を活用したイベント開催



多摩川河川敷で、太陽の動きを観察

まちはどんな英語がある？  
みんなで英語の地図を作成！

## 学習の興味・関心・意識を生む工夫

大学生が専攻分野を活かしワークショップ。年が近いお兄さんが楽しそうに授業を進めてくれると子ども達も積極的に取り組むように。学生ならではの子どもとの距離感の近さが魅力です。

